

電波障害自主規制届出装置の記述

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

高調波抑制対策の記述

IBM 5400-L10 印刷装置は「高調波ガイドライン適合品」です。

第1版 2002年 3月

このマニュアルは、製品の改良その他により適宜改訂されます。

© Copyright International Business Machines Corporation 2002. All rights reserved.

はじめに

本書は、IBM™ 5400-L10 印刷装置の設置手順および操作方法について説明します。本書は、IBM 5400-L10 印刷装置（以降、IBM 5400-L10または印刷装置と呼びます）を設置する導入担当者および操作員の方々を対象にしています。

本書は次のように構成されています。

- 第1章、『設置手順』では、IBM 5400-L10の設置手順およびホスト・システムとの接続方法などを説明しています。
- 第2章、『操作手順』では、IBM 5400-L10の各部の名称と機能、注意事項、および基本的な操作方法を説明しています。
- 第3章、『故障回復手順』では、IBM 5400-L10に問題が発生した場合の対処方法を説明しています。
- 第4章、『IBM 5400-L10の概要と機能』では、IBM 5400-L10の概要、基本仕様、ホスト・システムとの接続構成、および IBM 5400-L10をIBM e-server iSeries (AS/400®) またはパーソナル・コンピューター（以降、PCと呼びます）に接続した場合の基本機能などを説明しています。
- 第5章、『設置計画と導入準備』では、IBM 5400-L10を導入する際に必要な準備、機械仕様、電源条件、ケーブル、および環境条件などを説明しています。

また、第1章から第5章までの補足情報として、次の付録を用意しています。

- 付録A、『印刷用紙の規格』
- 付録B、『印刷制御文字（ホスト・システム接続用）』
- 付録C、『制御コード（パラレル・ポート接続用）』
- 付録D、『ESC/P制御コードとESC/Pモード』
- 付録E、『IBM 日本語文字セット』
- 付録F、『ユーザー定義文字のロード (Telnet5250接続)』
- 付録G、『e-server iSeries (AS/400)とTelnet5250接続時のシステム構成例』

関連マニュアル

IBM 5400-L10をIBM e-server iSeries (AS/400)と接続してご使用になる場合は、次のマニュアルを必要に応じて参照してください。

- 「IBM漢字システム文字セット一覧表」N:GC18-0611
- 「IBM 5250情報表示システム計画と設置準備の手引き」N:GA21-9337
- 「IBM AS/400ユーティリティー: 印刷装置機能制御ユーティリティー使用者の手引き」
N:SH18-2409
- 「IBM AS/400ユーティリティー: 多機能漢字印刷ユーティリティー使用者の手引きと参照バージョン2」SH88-5006
- 「IBM AS/400ユーティリティー: 多機能漢字印刷ユーティリティー使用者の手引きと参照バージョン3」SH88-5019
- 「IBM AS/400適用業務開発ツール: CGU使用者の手引き」N:SC09-1170
- 「ADTS/400 文字作成ユーティリティー (CGU)」SC88-5196
- 「AS/400e TCP/IP 構成および解説書 V4」SD88-5013
- 「AS/400 TCP/IP セットアップ V4」SD88-5016
- 「AS/400 印刷装置プログラミング V3」SC88-5601

IBM 5400-L10をPCと接続してご使用になる場合は、次のマニュアルを必要に応じて参照してください。

- 接続するIBMのシステム・ユニットに付属する取扱説明書（「リファレンス・マニュアル」など）
- IBMシステム・ユニットに導入されているオペレーティング・システムの取扱説明書

特記事項

本書において、日本では発表されていないIBM製品（機械およびプログラム）、プログラミング、またはサービスについて言及している場合があります。しかし、このことは、弊社がこのようなIBM製品、プログラミング、またはサービスを、日本で発表する意図があることを必ずしも示すものではありません。

本書で、IBMライセンス・プログラムまたは他のIBM製品に言及している部分があっても、このことは当該プログラムまたは製品のみが使用可能であることを意味するものではありません。これらのプログラムまたは製品に代えて、IBMの知的所有権を侵害することのない機能的に同等な他社のプログラム、製品、またはサービスを使用することができます。ただし、IBMによって明示的に指定されたものを除き、これらのプログラムまたは製品に関連する稼働の評価および検査はお客様の責任で行っていただきます。

IBMおよび他社は、本書で説明する主題に関する特許権（特許出願を含む）、商標権、または著作権を所有している場合があります。本書は、これらの特許権、商標権、および著作権について、本書で明示されている場合を除き、実施権、使用権等を許諾することを意味するものではありません。実施権、使用権等の許諾については、下記の宛先に、書面にてご照会ください。

〒106-0032
東京都港区六本木3丁目2 - 3 1
AP事業所
IBM World Trade Asia Corporation
Intellectual Property Law & Licensing

商標

AS/400、IBM、OS/2、RS/6000、S/390は、IBM Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

"Microsoft""Windows"および"Windows NT"は、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。



他の会社名、製品名およびサービス名等は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

安全に正しくお使いいただくために

本書には、本製品を安全に正しくお使いいただくための安全表示について記述されています。本書をお読みになり、注意事項を必ずお守りください。お読みになったあとは保管して、必要に応じて参照してください。

絵表示について

本書および本製品への安全表示については、製品を正しくご使用いただいて、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、次の絵表示を使用しています。その表示の意味は次のようになっています。

 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性がある危険が存在する内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

危険 / 注意ラベルの表示について

この製品の外部または内部に、黄色地に黒文字で表示されているラベルがある場合は、安全上に関しての、「危険」または「注意」ラベルです。必ず表示の指示に従ってください。本書に記述されている以外に、「危険」または「注意」ラベルによる表示がある場合は（たとえば製品上）、必ずそのラベルの表示による指示に従ってください。

危険

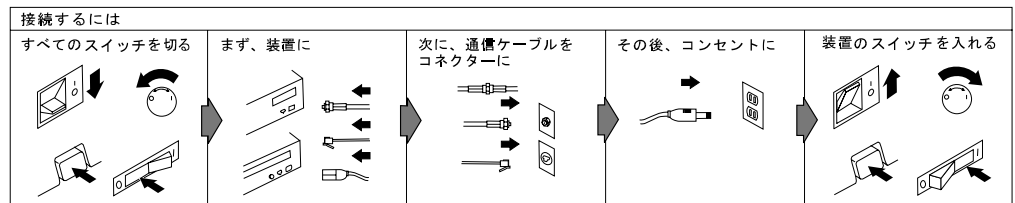
- 本製品のカバーは、本書で指定されたカバー以外は開けないでください。内部には高電圧部分があり危険です。
- 本製品を改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。
- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。タコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。
- 本製品は、付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の機器には使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードを破損し、火災、感電のおそれがあります。
- 万一、異常に発熱している、煙が出ている、異常な音がする、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから必ず抜いて、販売店またはIBMサービス・センターにご連絡ください。

- 万一、異物（金属片、水、液体）が製品の内部に入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから必ず抜いて、販売店またはIBMサービス・センターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。

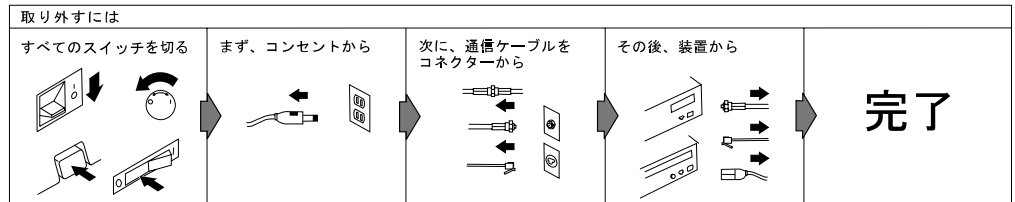
⚠危険

- 本製品は、安全のために3線電源コードおよび3ピン電源プラグを使用しています。電源プラグは、必ず接地端子付き（3ピン）コンセントに差しこんでください。
- ケーブル類の接続、取り外し方法は下記の指示に従ってください。

電源コードおよび通信ケーブルからの電流は身体に危険を及ぼします。感電の危険を避けるために、製品または接続装置を設置、移動、または製品のカバーを開けたり装置を接続したりするときには、下記のようにケーブルの接続および取り外しを行ってください。



雷の発生時にはケーブルの接続をしないでください。



雷の発生時にはケーブルの取り外しはしないでください。

⚠注意

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。（必ずプラグを持って抜いてください。）
- 使用環境については、本書の第5章で記述している『環境条件』を参照してください。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- この製品の通気孔をふさがないでください。通気孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- 本製品を移動するときは、思わぬ怪我をしないように注意してください。

注： 本体は約145 kgあります。1人で動かさないでください。本体を動かすときは、必ず2人以上で行ってください。重すぎるときは、ほかの人の応援を頼んでください。

- 本製品は清潔で乾燥した環境で使用し、必ず平らでしっかりした床上に設置してください。
- ケーブル類の上に重たい物を載せたり、ケーブル類を挟んだりしないでください。
- 連休などで長期間使用しないときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

目次

はじめに	iii
関連マニュアル	iv
特記事項	v
商標	v
安全に正しくお使いいただくために	vii
絵表示について	vii
危険/注意ラベルの表示について	vii
第1章 設置手順	1-1
1.1 設置を始めるまえに	1-1
1.1.1 IBM 5400-L10を移動するとき	1-2
1.2 IBM 5400-L10の設置	1-3
1.2.1 輸送用テープの取り外しと付属品の確認	1-3
1.2.2 Vケーブルの接続 (e-server iSeries (AS/400)システムと接続する場合)	1-6
1.2.3 用紙ガイドのセット	1-8
1.2.4 リボン・カセットのセット	1-9
1.2.5 用紙のセット	1-15
1.2.6 IBM 5400-L10のテスト	1-20
1.3 ホスト・システムとの接続	1-22
1.3.1 IBM 5400-L10をe-server iSeries (AS/400)システムと接続する場合	1-22
1.3.2 IBM 5400-L10をPCと接続する場合	1-33
第2章 操作手順	2-1
2.1 各部の名称と機能	2-1
2.1.1 前面	2-1
2.1.2 背面	2-2
2.1.3 印字機構部 (左側面)	2-3
2.1.4 印字機構部 (右側面)	2-4
2.1.5 操作パネル	2-5
2.2 IBM 5400-L10使用上の注意点	2-9
2.2.1 消耗品について	2-9
2.3 電源オンと電源オフ	2-10
2.3.1 電源オン	2-10
2.3.2 電源オフ	2-12
2.4 印刷の中断と諸操作	2-13
2.4.1 印刷の中断と再開	2-13
2.5 印刷モードの変更	2-14
2.5.1 [印刷モード]スイッチからの変更方法	2-15
2.5.2 初期設定からの変更方法	2-16
2.5.3 印刷モード	2-16
2.6 印刷用紙の取り外しとセット	2-19
2.6.1 印刷用紙の取り外し	2-19
2.6.2 印刷用紙のセット	2-23
2.6.3 用紙切れのとき	2-32

2.7	リボンの点検	2-33
2.8	インク・リボンの交換	2-35
2.8.1	リボン・カセットの取り外し	2-35
2.8.2	リボン・カセットの取り付け	2-37
2.8.3	リボンの詰め替え	2-39
2.9	調整	2-46
2.9.1	印字圧の調整	2-46
2.9.2	用紙の上下位置の調整	2-47
2.9.3	用紙の左右位置の調整	2-48
2.9.4	用紙張力の調整	2-51
2.10	テスト印刷	2-52
2.11	ドア開閉方向の変更	2-54
2.11.1	フロント・ドアおよびリア・ドアの部品構成と名称	2-54
2.11.2	フロント・ドアの取り外し	2-55
2.11.3	リア・ドアの取り外し	2-57
2.11.4	フロント・ドアの取り付け	2-60
2.11.5	リア・ドアの取り付け	2-61
2.12	初期設定	2-63
2.12.1	初期設定で使用するスイッチとその機能	2-63
2.12.2	初期設定の手順例	2-64
2.12.3	初期設定項目	2-66
2.13	ホスト・トレース印字	2-84
2.13.1	ホスト・トレース・モードに入る	2-84
2.14	IBM 5400-L10の移動	2-85
第3章	故障回復手順	3-1
3.1	故障個所の判別	3-1
3.2	メッセージとその対応	3-2
3.2.1	メッセージ表	3-2
3.2.2	Telnet5250使用時のエラー・メッセージ表	3-5
3.3	用紙づまりの除去	3-13
3.4	リボン・ジャムの除去	3-16
第4章	IBM 5400-L10の概要と機能	4-1
4.1	IBM 5400-L10の概要	4-1
4.1.1	基本仕様	4-3
4.2	ホスト・システムとの接続	4-5
4.2.1	システム・ポート接続	4-5
4.2.2	パラレル・ポート接続	4-6
4.2.3	Telnet5250接続	4-6
4.2.4	LPR接続	4-7
4.3	e-server iSeries (AS/400) 接続時の基本機能	4-8
4.3.1	印刷可能文字	4-8
4.3.2	印刷密度	4-10
4.3.3	印刷速度	4-10
4.3.4	印刷形式(横書き、縦書き)	4-11
4.3.5	ホスト・システムによる機能の制約	4-12
4.3.6	Telnet5250接続時の制約	4-12
4.4	PC接続時の基本機能	4-13

4.4.1	5577プリンターとしての使用	4-13
4.4.2	印刷可能文字	4-13
4.4.3	印刷密度	4-15
4.4.4	印刷速度	4-15
4.4.5	印刷形式（横書き、縦書き）	4-17
4.4.6	LPR接続	4-17
第5章	設置計画と導入準備	5-1
5.1	導入準備	5-1
5.2	機械仕様	5-2
5.2.1	月間印刷量	5-2
5.3	電源条件	5-3
5.4	ケーブル	5-3
5.4.1	e-server iSeries (AS/400)とシステム・ポート接続をする場合	5-3
5.4.2	PCと接続する場合	5-3
5.4.3	LANに接続する場合	5-3
5.5	環境条件	5-4
付録A.	印刷用紙の規格	A-1
A.1	用紙の仕様	A-1
A.2	用紙の印刷可能範囲	A-3
A.3	複写連続用紙の糊付け規格	A-4
A.4	事前印刷	A-5
A.5	ラベル用紙について	A-6
A.6	1行あたりの最大文字数	A-7
A.6.1	e-server iSeries (AS/400)と接続する場合	A-7
A.6.2	PCと接続の場合	A-8
付録B.	印刷制御文字（ホスト・システム接続用）	B-1
B.1	システム印刷装置制御文字（SCSモード）	B-1
B.2	バーコード印刷機能	B-3
B.2.1	バーコード・タイプ	B-3
B.2.2	設定項目	B-3
B.2.3	バーコード印字についての注意事項	B-3
B.2.4	バーコード用語	B-4
B.2.5	バーコード用制御文字	B-5
付録C.	制御コード（パラレル・ポート接続用）	C-1
C.1	制御コード一覧	C-1
C.2	制御コードの概要	C-4
C.2.1	用語	C-4
C.2.2	印字開始条件	C-4
C.3	制御コード	C-6
C.4	5577データ・ストリーム作成上の考慮点	C-20
C.4.1	レベルEプリンターについて	C-20
C.4.2	プリンターの初期設定値	C-21
C.4.3	文字の配置	C-22
C.4.4	行ピッチと実際の改行幅の違い	C-24
C.4.5	書式設定（印刷領域設定とタブ、水平/垂直位置移動）	C-25

C.4.6	フォント・スタイルの指定	C-26
C.4.7	文字装飾の組み合わせ	C-26
C.4.8	右マージンを越えるデータの印字	C-26
C.5	文字セット	C-27
C.5.1	日本語DOS文字セット（半角文字）	C-28
付録D.	ESC/P制御コードとESC/Pモード	D-1
D.1	ESC/Pモードの初期設定	D-1
D.2	制御コード	D-1
D.2.1	ESC/Pモードを使用する場合の制限	D-4
D.3	ESC/P文字セット	D-5
D.3.1	カタカナ・コード表	D-5
D.3.2	拡張グラフィックス・コード表	D-6
付録E.	IBM 日本語文字セット	E-1
E.1	新JIS並びと旧JIS並びの違い	E-1
E.2	新JIS並びおよびコード・ページ943に追加された全角文字	E-2
付録F.	ユーザー定義文字のロード（Telnet5250接続）	F-1
付録G.	e-server iSeries (AS/400)とTelnet5250接続時のシステム構成例	G-1